

154プレス機械を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	8 ～ 9	工場で110tプレスを使用し換気扇の換気口の部品を加工していた際、誤って右手2指を圧縮し創傷を負った。	17	7	11203	1～ 9
2	2020	1	14 ～ 15	会社工場内の油圧式ベンダーで鋼板の折り曲げ加工中、操作盤でセットして作業に取り掛かった際、セット違いで圧が掛かりすぎて、鋼板を載せたメス金型が割れ、割れた箇所がやじりのようになって飛び、腹部を貫通し、外傷性結腸穿孔、急性汎性腹膜炎を負った。	31	4	11209	10 ～ 29
3	2020	1	8 ～ 9	プレス機に材料をセットしたとき、位置がずれてしまい直そうとして焦ってセンサーの効かない場所に右手を出したため、機械が動き出して右手を挟み、右手中指と薬指が第一関節から潰れ、挫滅創を負った。	61	2	11402	10 ～ 29
4	2020	1	14 ～ 15	プレス機械のメンテナンス中に動力のスイッチを切り忘れたため、ペダルスイッチに接触し機械が動き出した際、指を挟み右手示指、中指、環指を切断した。	47	7	11203	10 ～ 29
5	2020	1	9 ～ 10	プレス機の安全スイッチを切った状態で金型を付け替えた後、安全スイッチを入れ忘れたまま作業したため、右手指4本を切断した。	49	7	11203	10 ～ 29
6	2020	1	15 ～	工場内で、鉄をプレス機で加工する際、右手人差し指を機械に挟んで骨折した。	64	7	11209	10 ～

			16						29
7	2020	1	11 ～ 12	ブリケットプレス機内で、プレス型を2台の油圧ジャッキで受けた状態のまま装置のメインシリンダーを下降中、プレス機内の詰まった材料を下側に押し出そうと圧力を掛けた際、油圧ホースのカプラー一部が外れ、作業者の胸部に当たり骨折した。	55	4	11101	～ 49	30
8	2020	1	11 ～ 12	工場内で、プレス機を使用し自動車部品を製造中、プレス機に右腕が挟まれ、右腕上腕部を開放骨折した。	60	7	170101	～ 99	50
9	2020	1	11 ～ 12	工場内で作業中、ワークがずれているのに気づき、下降しているプレス機に右腕を入れ、安全装置を体で遮断し異常停止をした際、右腕上腕部が挟まれた。このとき、右腕上腕部を開放骨折した。	60	7	11502	～ 299	100
10	2020	1	16 ～ 17	プレス機にてプレス作業中、指を挟んで左手人差し指と右手人差し指、中指を切断した。その際、金型取付時に安全機をONにするのを忘れたため安全機が作動しなかった。	57	7	11203	1～ 9	
11	2020	1	18 ～ 19	ゴムの製造工程で、プレス開始時に警告音が鳴ったにもかかわらず支柱を掴んでいたため手を挟まれ、左中指を骨折した。	22	7	170101	～ 299	100
12	2020	1	13 ～ 14	空圧プレス機械点検作業中、プレスを作動させながらエア漏れを確認中、ゴミがあったため、払おうといつもより長く指を置いたところ、指先を挟み、右示指、中指を骨折した。	65	7	11301	1～ 9	
13	2020	2	11 ～ 12	工場内プレス機械で、（平鋼）長物加工から単発加工に切り替える際、本来は、手押しスイッチを利用するところを、長物加工の流れのままフットスイッチで作業をしていたため、右手を挟み、右手甲から先を切断した。	48	7	11203	1～ 9	
14	2020	2	13 ～ 14	プレス機に金型を取り付けているとき、金型の設置位置が正しいと思い、ダイクッションをONにし、金型を上昇させたが、位置が悪く、位置を変えようとした。その際、上型とスライドの間に手を掛	57	7	11502	～ 29	10

				けたところ、機械が作動したため、指を挟み、両親指を骨折した。				
15	2020	2	11 ～ 12	事業場工場内でプレス加工作業中、皿ネジ部品（約10cm）をプレス加工機械の中に1個ずつ入れて作業をしているとき、入れるタイミングがずれて挟み、右手中指と薬指に裂傷を負い、骨折した。	75	7	11203	1～ 9
16	2020	2	11 ～ 12	プレス作業中に品物を加工していないときに、型の中に左手を入れてたため、左手人差し指を切断した。	70	7	11203	1～ 9
17	2020	2	8 ～ 9	工業所内で、ベンダーの型の交換作業をしているとき、作業用のペダルに足が当たって踏んだため、機械が作動して指を挟み、左手中指・薬指・小指を骨折した。	35	7	11502	10 ～ 29
18	2020	2	15 ～ 16	ジャムプレスで作業中、プレス内に異物が見えたので除去するために、ジャムプレスを停止するボタンを押したが、完全に停止する前に指を入れて、右示指切断を負った。	47	7	11403	30 ～ 49
19	2020	2	9 ～ 10	工場内で300トンプレスに金型を設置しているとき、ダイクッションエアを入れ金型を持ち上げ、嵩上げブロックを抜き取ろうとしたところ、エアが漏れて金型が下りてきて、左手薬指第2関節周辺を挟み複雑骨折した。	37	7	11209	30 ～ 49
20	2020	2	8 ～ 9	300トンプレスで清掃作業中、入口側送りロールに付いた油を、ウェスをもち左手を置いたまま、右手で投入側の送りロールボタンを押したときに、左手指がロール間の隙間に巻き込まれ、左人差し指・中指・薬指に挫傷を負った。	21	7	11209	10 ～ 29
21	2020	3	11 ～ 12	機械で印刷物を型抜きプレス作業中、安全装置はついていたが、右手で印刷物を挿入した際、印刷物が曲がって挿入されてしまい、左手で印刷物を抜き取ろうとして、左第2指～4指末節骨を折った。	48	7	10709	30 ～ 49
22	2020	3	16 ～ 17	プレス機でスチール板を製品の形状にカットする作業中、通常、両手でスイッチを押して作業するところ、足でスイッチを踏んで作業をしていて、考え事をしていて手を入れてしまい、右手掌から親	53	7	11209	10 ～ 29

				指、人差し指、中指、薬指を切断した。				
23	2020	3	10 ～ 11	工場で、45tプレス機を使用してブランク加工をしていたとき、加工物が金型内に残っていたので左手で取ろうとした。その際、フットスイッチを踏んで機械が作動し、左手薬指を骨折した。	51	7	11203	100 ～ 299
24	2020	3	9 ～ 10	工場内で、60tプレスブレーキで作業中、ペダルスイッチを踏んだ際、左親指を挟み骨折した。	62	7	11301	50 ～ 99
25	2020	3	15 ～ 16	工場内で、プレス加工中、連続スイッチを入れ加工した際、左手親指第一関節に切創を負った。	42	7	11203	10 ～ 29
26	2020	3	14 ～ 15	工場内で、薄板をブレーキプレスで曲げ加工中、薄板をセットする際に右手指が入り、示指・中指・環指を骨折した。	64	7	11209	1～ 9
27	2020	4	16 ～ 17	会社内で金型取り付け作業時、金型取り付け後、品物を左手でセットし、誤ってフットスイッチを踏み、左手が巻き込まれ、左手甲を打撲した。	24	7	11209	1～ 9
28	2020	4	11 ～ 12	工場内で、足場材を自動プレス機にセットし、金型を用いてスリットコイルに穴をあけていた。材料を送る際にリモコンで手動操作するべきところ、自動送りボタンを押したため、次の材料が送られてきて、右手親指を打撲した。	24	6	11209	30 ～ 49
29	2020	4	11 ～ 12	プレス工場で、材料を面押し作業中、材料を取り出す際、手が機械に残った状態でフットスイッチを踏み、安全装置が動作せず、プレスと材料の間に右手が挟まれ、右手指を開放骨折した。	67	7	11209	10 ～ 29
30	2020	4	16 ～ 17	プレス機で作業中、左手で加工物を取り除く際、加工するために踏むペダルを踏んでしまい、左手を負傷した。	65	7	11209	10 ～ 29
			12	工場内でプレス機の段取り替えのため金型を付け替える作業を行っ				

31	2020	4	～ 13	ていた。その際、金型の刃の位置を勘違いして、左手を差し入れたまま機械を作動させてしまい、降りてきた刃で左手中指の先端を切り欠損した。	73	7	11203	1～ 9
32	2020	4	～ 15	工場内で金型を取り外すとき、手順を誤り、上型が左手中指付近に落下し、骨折した。	44	4	11203	50 ～ 99
33	2020	4	～ 15	工場ではブレーキ曲げ作業中、部品をプレスブレーキへセッティングしていたときに、被災者の足が稼動ペダルの上に入り踏んでしまい、プレスブレーキ上型が降りてきて、左手中指と薬指を挟んで開放骨折した。	41	7	11301	100 ～ 299
34	2020	4	～ 18	工場では曲げ作業をしているとき、プレスブレーキに両手を挟まれて骨折した。	22	7	11209	100 ～ 299
35	2020	5	～ 15	工場内でプレス機を使用し、無線機の材料のプレス作業中、プレス機より材料を取り出そうと手を出したとき、上型が下がり、右手を挟み、薬指と小指を欠損した。	57	7	11301	10 ～ 29
36	2020	5	～ 15	工場内にてローリングパワープレスで加工した建築用金具部品の高さ調整作業をしていた際、部品を金型にセットした後、直そうと右手を出してしまい右手示指、中指を圧迫し切断した。	44	7	11203	1～ 9
37	2020	5	～ 18	プレス機を使用して長さ約1.2m、幅約4cmの金属板を加工する作業中、安全囲いを外した状態で材料のセットを行い、切断部分に左手を置いた。その際、右手でボタンを操作してしまい、手をプレス機で挟み、左手人差し指開放骨折と左手中指末節骨切断を負った。	42	8	170101	100 ～ 299
38	2020	5	～ 12	鉄工所のプレス作業場で、45tプレス機でUバンドを打ち抜く際に、金型の材料順送り治具がなかったので、両手打ちボタンではなく、足踏みスイッチを使用していた。途中で材料が引っ掛かったので、スイッチに足を掛けた状態で解消しようとしたところ、機械が作動し、左手が潰されて中指を骨折した。	58	7	11509	10 ～ 29

39	2020	5	10 ～ 11	80tプレス加工で、安全装置下側より右手にワークを投入した際、稼働装置に触れてしまい、右手人差し指、中指、薬指を切断し、小指を骨折した。	46	7	11502	～ 29
40	2020	5	5 ～ 6	工場内で、小型プレスの作業中、手工具を使用せずに作業したため、左手親指先端を圧搾し、裂傷を負った。	67	7	11203	～ 299
41	2020	6	10 ～ 11	成形機で型替え高さ調整中（2人1組で）上型を下降する指示を出していた。その際、手を挟まれ、左示指を骨折し、左手に挫創を負った。	31	7	10602	1～ 9
42	2020	6	16 ～ 17	社内25tプレス機でプレス加工を行うとき、フットスイッチにてプレス機に信号を送る設定で加工していた。製品を排出するとき、左手が金型内にある状態でフットスイッチを作動させ、左母指および示指を開放骨折した。	50	7	11203	1～ 9
43	2020	6	15 ～ 16	工場折曲作業場で、プレスブレーキで760mm×50mmのワークを加工中、金型間に指を挟まれた。その際、左示指・中指・環指を基節骨骨折し、左小指を骨折した。	55	7	11301	～ 299
44	2020	6	13 ～ 14	加工場内で、加工機を操作中、機械操作を誤りフットスイッチを左足で踏み込んだ際、上から下りてくる金型と下金型の間に左手が挟まれた。このとき、左手指（親指以外）に挫滅創・骨折・神経血管傷を負った。	19	7	11209	50 ～ 99
45	2020	6	14 ～ 15	事業所の作業場でプレス加工中、ペダルに足が触れてプレス機が作動し、右手人差し指が巻き込まれて指先を切断した。	72	7	11409	1～ 9
46	2020	6	16 ～ 17	工場でプレス作業中、床に落としたボールペンを拾う際、左手でプレス機にセットしてある製品を押さえていたところ、左膝が作業レバーに当たったためシリンダーが降りてきて、人差し指が挟まれて切断した。	18	7	11102	100 ～ 299

47	2020	6	9 ～ 10	加工場で、オートマチックベンダーで鉄筋を曲げる作業中、他の作業員に指示を出そうとした際、左手示指が巻き込まれ、骨折・裂傷を負った。	39	7	11209	～ 29
48	2020	7	8 ～ 9	工場で、2mぐらいのトタンを折り曲げ機で加工中、トタンと一緒に右手人差し指の第1、2関節の間を挟んで、複雑骨折した。	21	7	30202	1～ 9
49	2020	7	16 ～ 17	工場内で、0.5mm厚の電磁鋼板を300tプレス機で打ち抜きの際、コイル材を送り装置で送り、安全一工程で連続抜きをオペレーター1名、製品取り1名で作業を行っていた。製品がスクラップにはまった状態で排出されるため、プレス外側で製品を取って移動する際、うまく製品が取れなかったにもかかわらず、装置を作動させて、切れたスクラップの先端鋭利部分が右手内側に刺さり、右肘内側部分に裂傷を負った。	35	8	11203	30 ～ 49
50	2020	7	11 ～ 12	工場内で、1人で45tプレス機を使用して、金属製品のしぼりおよび段押しの作業工程が終了し、金型を外すため安全一工程を解除した。その後、作業が完了していない製品が残っていることに気づき、再度、作業に取り掛かったため、プレス機に左手指を挟み、左手中指、薬指、小指を切断した。	83	7	11203	1～ 9
51	2020	7	14 ～ 15	工場内で、4.5tプレスで銅板の成形加工中、安全装置が入っておらず、安全確認を怠り作業した際、指を挟み、右手背部挫滅創を負った。	28	7	11209	1～ 9
52	2020	7	13 ～ 14	材料を金型に入れ成型中、材料が型に入り取り出す際、プレスを起動し、右手が挟まれた。このとき、右手を切断した。	48	7	11001	10 ～ 29
53	2020	7	12 ～ 13	鍛造工場で、炉を加熱し鍛造中、上型取付部をゆっくり下げようとした際、普通のスピードで下りてきたため、金型に右手が挟まれ、右手人差し指と中指第一関節を切断した。	26	7	11001	30 ～ 49
			10					30

54	2020	7	11	事業所内で、プレスブレーキで商品を加工する際、左手を挟んで左手小指を開放骨折した。	25	7	11209	～	49
55	2020	7	17	簡易ベンダーで作業中、ベンダーと品物の間に指を挟んで、左手親指に切創を負い、爪が割れた。	48	7	11209	～	99
56	2020	7	12	段ボールを崩してプレス機のコンベアに投入中、段ボールプレスを止めていた番線を切った際、番線がコンベア内に落ちたため拾おうと屈んだところ、段ボールプレスの一部が崩れて右肩に当たり腱板断裂を負った。	62	4	80109	～	29
57	2020	8	12	上場内でプレス作業中、光線安全器の効かない所で、右手を挟まれて、圧挫傷を負い、母指・示指・中指を骨折した。	31	7	11709	～	29
58	2020	8	17	折り曲げ機械に、折り曲げる金型をつけるときに、上の金型が下りてきた際に、金型との間に親指を挟み、手袋をしていたため皮膚でつながっている親指切断の状態で、右母指切断を負った。	50	7	11209	～	29
59	2020	8	10	工場1階で、客先向けオーブンの対流ダンパーの回転ベースを製作中に、ベンダーで部品の曲げ加工をする際、1か所曲げが甘くなってしまう、逆側から曲げようと思い、安全装置を切り、手を挟まな いか確認して曲げようとした。そのとき、確認時よりも手が内側に入っていることに気付かず手を挟み、左舟状骨・有鉤骨を折った。	26	7	11301	～	29
60	2020	8	10	プレス製造ラインで金型交換作業中に、金型内部に左手を置いて調整中にフットペダルを踏んだため、プレスが作動して左手第2指が金型内に挟まり損壊した。	26	7	11203	～	29
61	2020	8	10	工場作業場でエキスパンドメタルを切欠き作業中、70tプレス機に取り付けた金型内の完成品を取り出す際、プレス機が動いて右手を挟まれ、圧挫傷を負った。	28	7	11209	～	29
			11	会社内で、油圧ベンダーを使用して鋼材の曲げ加工を行っていた					



62	2020	8	～ 12	際、材料を機械にセットするため右手でスタートボタンを押したところ、クランプが動いて右手親指が挟まれ骨折した。	40	7	11301	1～ 9
63	2020	9	～ 17	16 本社工場で、生き餌を梱包する、プラスチックの出荷用カップの蓋に穴を開ける作業中、プレス機に指を挟み、左手人差し指に挫創を負った。	31	7	80209	10 ～ 29
64	2020	9	～ 11	10 プレス機械で紙管の穴開け加工をしている最中に、手を入れて右示指完全切断、切断指再接着後え死を負った。	67	7	10602	10 ～ 29
65	2020	9	～ 17	16 塗装場前のプレス機で燃料タンクを潰しているとき、潰れたタンクがプレス機に挟まり、ボディに上ってタンクを外そうとハンマーで叩いていたところ、バランスを崩し、ボディの上から落ちた際、全体重が右足に掛かり、踵を骨折した。	59	1	11701	10 ～ 29
66	2020	9	～ 9	8 金属加工プレス機に材料を投入した後、調整のため右足を金型台の上に乗せていたところ、滑って後方へ転倒した。その際、右手で頭をかばおうとし、床に右肘をぶつけて脱臼骨折した。	52	1	11401	100 ～ 299
67	2020	9	～ 9	8 工場で金属加工プレス機に材料を投入した後、調整のため右足を金型台の上に乗せていたところ、滑って後方へ転倒した。その際、右手で頭をかばおうとし、床に右肘をぶつけて脱臼骨折した。	52	1	170101	10 ～ 29
68	2020	9	～ 19	18 工場内で金型（約100kg）の交換作業を行っていた際、金型を自らの方向に引っ張りすぎたため滑り落ち、避けきれずに股関節付近で受け止めたため、右股関節・右大腿骨・右腓骨、左足小指を骨折した。	41	4	11203	10 ～ 29
69	2020	10	～ 14	13 プレス加工機で曲げ加工を行っているとき、1回曲げて完成の製品を2回曲げてしまい、間違いに気づき曲げている最中に抜こうとして、指を上型と製品の先端に入れてしまい、右手人差し指先端を開放骨折した。	26	7	11301	30 ～ 49
				工場内にてプレス機械での薄板鋼板のライナー抜き作業で、フット				

70	2020	10	12 ～ 13	スイッチが作動しなかったが残り作業が少ないこともあり、終了後センサー点検を行うつもりで作業を続けた。ライナー素材が型に引っ掛かったため、引っ掛かり部を手で除去する際、フットスイッチに触れてプレス機に右手指を挟み、右環指挫減創、PIP関節脱臼、伸筋腱断裂を負った。	41	7	11403	～ 99
71	2020	10	14 ～ 15	工場内でプレス加工中、鉄の材料を抜き加工していて、左手が金型の中に入り、左人差し指を切断した。	78	7	11209	1～ 9
72	2020	10	14 ～ 15	作業員2人でプレス機を使って鉄板を折り曲げていた際、左手甲が機械に挟まれて圧挫傷を負った。	50	7	11209	1～ 9
73	2020	10	17 ～ 18	作業場で、ステンレス板の折り曲げ作業中、刃を調整した際、確認を怠り、軍手をした左手示指、中指、環指を挟み骨折した。	51	7	11209	1～ 9
74	2020	10	9 ～ 10	工場内、樹脂パレット取り外しのためボルトを緩める作業中、落ちた帽子を拾う際、背中から落下し、頸椎を捻挫、骨盤部を打撲した。	72	1	11301	50 ～ 99
75	2020	10	16 ～ 17	工場内で、製品の蓋板を作成中、機械の誤動作により、プレス部（上から下りてくる機械）が動作し、型が壊れるのを防ぐため右手を入れた際、右手人差し指が挟まれ切断した。	32	7	10602	1～ 9
76	2020	10	9 ～ 10	工場内で、刻印加工中、製品を取りに右手を伸ばした際、上で待機中の刻印機が下降し、製品と刻印の間に右手が挟まれ、右手示指と環指を骨折した。	62	7	11301	100 ～ 299
77	2020	10	9 ～ 10	工場内で、製品を両手で固定し作業中、手が滑り、機械に指先が挟まれ、両手人差し指の先を骨折した。	30	7	11203	30 ～ 49
			16	プレス機による作業現場で、送り抜き加工の工程中、金型の中に手				10

78	2020	10	17	が入った状態でプレス機の足踏みスイッチを押して、右手首を骨折した。	53	7	11203	～	29
79	2020	10	16	鉄の板（重さ2.6kg、1cm×5cm×0.6mm）を足踏み用のフットプレスで加工中、材料を置いて型にはめたとき、タイミングを誤って踏んで、右手の人差し指を挟み、右示指末節骨骨折、右示指切断を負った。	70	7	11402	～	29
80	2020	10	15	プレス設置場所で、部品を曲げ加工作業中、足ペダルでプレスを作動させるが、気が付いたときにはペダルを踏んでしまい、左手を挟み、左手中指第一関節に創傷を負った。	65	7	11201	～	29
81	2020	10	5	自動車部品製造作業場で、機械からワーク（加工物）を取り出す作業中、右手は油圧で稼働するクランプベースと機械のフレームの間に添えていた。その状態のまま停止していたクランプベースのフットスイッチを踏んで解除して、クランプベースが元の位置にスライドし、クランプベースとフレームに挟まれ右正中神経を損傷し、右第2、3、4中手骨を折った。	25	7	11502	～	99
82	2020	11	15	溶接作業エリアでプレス機を使用し、製品をプレスしていた。安全装置のスイッチを切った状態で、手で製品を押さえプレス作業を行い、プレス機のスライド上昇を掛け忘れ型が急に落ちてきて、指を挟んで右手中指を骨折し、左手中指に裂傷を負った。	48	4	11502	～	29
83	2020	11	15	プレス工場、鋼材替え（コイル鋼板）作業後の試し打ち確認の際、上下動作中のプレス金型に右手を入れて、右手指を切断した。	52	7	11502	～	49
84	2020	11	15	ベンダー（折り曲げ機）で折り曲げ作業中、短い部品を連続して加工した後、長い部品を加工するため、型枠をセットし直し、型合わせをするとき、セット変更を失念し、型の中に左手示指を添えたまま機械を動作させた。その際、挟まれて左手示指を開放骨折した。	52	7	11203	～	49
			14	工場内で金属製品をプレスする際、右手で製品を下型の所定の場所に置いた後、手を引かないうちにフットスイッチを踏んだ。そのた					1～

85	2020	11	15	めプレスが下りてきて、上型と下型の間に右手人差し指を挟んで骨折し、神経が断裂した。	54	7	11203	9
86	2020	11	11 12	工場内で125tプレス機で防臭排水トラップの上リングを型抜きする準備をしていた。高さ調節のため手元にあった穴あき板を取り付け、型抜き加工を数回したところ、ジャッキが板の穴に入り込んで斜めの状態になった。その状態のまま次の型抜き加工をした際にジャッキが外れ、その勢いで板が外れて被災者の方へ飛び、腹部に当たって外傷性小腸穿孔を起こした。	51	4	11203	10 ~ 29
87	2020	11	14 15	工場内で、プレス機の金型に材料をセットしたとき、材料がずれていたのを修正しようと左手を入れた。その際、プレス機械が作動し、環指を挟まれて挫傷を負った。	40	7	11203	10 ~ 29
88	2020	11	17 18	工場内で、部材の曲げ加工を2人で作業中、加工機の一部が落下しそうになり、プレス金型に手を入れた際、作業者に停止するよう声を掛けたが、間に合わず、プレスに左手首が挟まれ、裂傷を負った。	20	7	11209	10 ~ 29
89	2020	11	17 18	工場内で、部材の曲げ加工を2人で作業中、加工機の一部が落下しそうになり、プレス金型に手を入れた際、作業者に停止するよう声を掛けたが、間に合わず、プレスに左手首が挟まれ、裂傷を負った。	20	7	170101	1~ 9
90	2020	11	14 15	75tプレスの機械で鉄板を加工する際、左手甲をプレス機に挟み、左示指伸筋腱断裂、左第3・4・5指切断、左手中指基節骨骨折、左手部尺骨動脈損傷を発症した。	62	7	11203	10 ~ 29
91	2020	11	16 17	事業所内で、35tプレス機で送り切断の金型で作業をしていた際、製品を取ろうと立ち上がったところ、フットスイッチを踏んでしまい、金型に右手母指を挟み、右母指手指不全切断を負った。	56	7	11203	10 ~ 29
92	2020	11	11	ブレーキプレス職場で、ウレタンシートの交換作業中、フットスイッチを踏んで金型が下がり、左手人差し指を挟み、骨折し、筋・	31	7	11209	50 ~

			12	動脈・腱断裂を負った。				99
93	2020	11	9 ～ 10	80tプレスで押し曲げ作業中、マグネットを左と正面に設置していたが、何らかの原因で正面のマグネットが手前に落下して、スイッチを繋いでいる治具に当たってプレスが起動し、左手を挟まれて環指・示指・中指・小指を切断した。	66	7	10509	～ 299
94	2020	12	15 ～ 16	パンチプレス機で加工中、ファンの動作確認を行うため、一時停止ボタンを押して入場したつもりが、プレス機が作動し操作盤との間に挟まれて右3～9肋骨、左4～9肋骨を折った。	59	7	10502	～ 49
95	2020	12	14 ～ 15	プレス機で製品の加工中、足踏みスイッチに足を置いたまま製品をセットし、手を離す前にスイッチを踏んだため、下降してきた上型と製品の間で右示指を挟んで切断した。	36	7	11209	1～ 9
96	2020	12	11 ～ 12	ベンダーで鋼材を曲げる作業をした後、上型に付いた部材を外す際に始動ペダルを踏んだため、左手人差し指を挟んで切断した。	23	7	11209	30 ～ 49
97	2020	12	14 ～ 15	工場内で、プレス機で加工中、慌てており、プレス機の上に置いた材料のズレを修正するため左手を出した際、起動スイッチを押し、左手人差し指と中指をプレス機の間で挟まれ、左手指尖部を切断した。	65	7	11203	30 ～ 49
98	2020	12	6 ～ 7	工場内で、プレス作業中、製品を取る際、プレスが動き、左手人差し指に打撲傷を負った。	39	7	11209	10 ～ 29
99	2020	12	14 ～ 15	プレスブレーキ機で清掃およびグリスアップ中、保護カバーを外し給油作業後、充填確認中に、フットスイッチを踏み機械が作動し、右手甲の骨折、親指付け根に打撲挫創を負った。	56	8	11203	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\)](#) (2020年)に戻る。

